

令和4年度 理科 科
 教科名等

校内科目名	学習指導要領の科目名	対象学年	対象クラス	単位数	分類	予定時数
化学基礎	化学基礎	3	B C D	2	自由選択	70 時間

教科担当・教材等

授業担当者名	
授業形態	講義・演習・実験
教科書	改訂 化学基礎，東京書籍
使用教材等	チェック&演習化学基礎，数研出版

科目の目標・内容等

学習目標	2年次に学んだ内容を発展させることにより、応用力を身に付け、大学入試共通テストや個別入試に対応できる力を養成する。
学習における留意点	大学入試共通テストや私立入試を前提とした講座であり、難易度は高い。
予習・復習	毎回復習をきちんとする努力が必要である。
評価方法	定期考査、課題の提出状況、日頃の学習の取り組み状況等を、総合的に評価する。

年間授業計画

学期	単元・授業内容	学習の重点	評価の観点
1	○ 化学と人間生活 ○ 物質の構成 1. 物質の成分と構成元素 2. 原子の構造と元素の周期表 3. 化学結合 ○ 物質の変化 1. 物質と化学反応式 2. 酸と塩基	・人間生活の中の化学 ・化学とその役割 ・物質の成分 ・物質の構成元素 ・物質の三態 ・原子の構造 ・電子配置と周期表 ・イオンとイオン結合 ・分子と共有結合 ・金属と金属結合 ・原子量、分子量、式量 ・物質質量 ・溶液の濃度 ・化学反応式と量的関係 ・酸と塩基 ・中和反応と塩の生成	・基本的な概念や原理原則が理解できているか。 ・問題演習に意欲的に取り組み、応用力を身に付けることができたか。 ・積極的に実験を行い、科学的に探究する能力が身に付いたか。
2	○ 物質の変化 3. 酸化還元反応 ○入試直前演習	・酸化と還元 ・酸化剤と還元剤 ・金属の酸化還元反応 ・酸化還元反応の応用 ・大学入試共通テスト試験対策	・基本的な概念や原理原則が理解できているか。 ・問題演習に意欲的に取り組み、応用力を身に付けることができたか。 ・積極的に実験を行い、科学的に探究する能力が身に付いたか。
3	○入試直前演習	大学入試共通テスト試験対策	・基本的な概念や原理原則が理解できているか。 ・問題演習に意欲的に取り組み、応用力を身に付けることができたか。 ・限られた時間の中で問題解決の方法を見つけられるか。

※生徒の理解度や担当者の工夫により進度が変わるため、必ずしも計画どおりに展開するものではありません。